

キャリア教育（進路）便り

寒い日が続きますが、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年も、引き続きよろしくお願いいたします。

子ども達も、1月8日の集会では、年度末のまとめと次年度に向けた取組を明確にし、力強くスタートしたところです。1年生は勿論、全ての学年の児童・生徒が、進級当時より「大きく、たくましく、頼もしく」成長している姿を見て嬉しく思いました。今後も「**子ども達のために**」頑張りたいと思います。

更に、本校にとって、初めての9年生（卒業生・受験生）も、自分の将来や夢に向かって、初の「受験」に真正面から取り組んでいます。9年生は、本校生活も残りわずかとなりますが、多くの輝かしい思い出を胸に卒業して欲しいと願っています。「がんばれ9年生」

在校生にとっても、やる気に満ちた、そして満足して進級できるよう、基礎・ファミリー活動・選択・行事等に、一生懸命に取り組めるよう支援・指導したいと考えています。

＜ 思考力・判断力・表現力育成の教育 ＞

21世紀は、変化の激しい、予測不可能な時代と言われています。そうした中で、**子ども達一人一人が、迷わず、自信を持って、たくましく生き抜くことが、一層求められてきます。**

学校教育もそうした変化に適切に対応できるよう、2020年より、新学習指導要領に基づく教育がスタートします。ご存知のとおり、「道徳科・外国語活動・英語科・プログラミング学習」他、取り組む内容も多くなってきました。特に、人間教育（心の教育）・国際化・IT活用等が強調されていますが、どれも今後の生活にとって大切なものです。（教育改革）

今回、皆さんに一番伝えたいことは、

今までは、学んだことを理解できているか（知識・技能）を評価していましたが、これからは、「知識・技能」の習得だけではなく、それをもとに「**自分で考え、判断し、表現し、実際の社会で役立てる**」ことが求められているということです。そのために学校教育では特に、アクティブラーニングと言って「**主体的、対話的で深い学び**」の学習・授業を積極的に取り入れる必要があります、この教育改革は、大学入試とも連動し、「センター試験から共通テストへ」と変わろうとしています。（物知りや暗記だけで済む時代ではなくなります）

普段の学習や教育活動において、知識・技能として獲得してきたことを使い、まず、**自分で考えたり、自分で判断したりすること、友達との話し合い、学び合いを通して、表現力を向上させていくことが大切です。自分の考えや意見に自信を持って、堂々と皆の前でコミュニケーションでき、上手く対人関係がとれるようにしたいと考えています。**そのためにも、様々な考えや意見、様々な人達との交流を図ることを大事にし、「主体的、対話的で（討論・話し合い・議論・発表等）、深い学び（自分の考え・他の意見との比較検討・新たな発見・考え等を自分でまとめ、意見を述べる・発表する）」場を教育活動の中で設定していきたいと考えています。

「社会人となっても、対人関係がうまくとれない」人が多くなっていると言われています。マイナスイメージの社会人の増加傾向に歯止めをかける必要があります。人間の生活は、人によって支えられて成り立っています。本校初等中等学部における教育活動を通して、「自分のよさや自分の考え」等を周囲の人達に理解していただけるよう、日頃の教育活動のより一層の充実をめざしたいと思います。